



「子どもが真ん中」となる教育活動をめざして

～ スケールメリットを最大限に活かし 「わたし」からはじまり、「なかま」へ広がる 中央小！ ～

1 確かな学力を育てる『自律』

「自分」で学びを進める、学びを決める、学び続ける子

- 論理的思考を活用し、自律的に学ぶ子の育成に向けた教師の研鑽
- 教育 DX を推進し、ICT 機器を積極的に活用した学びの共有
- 家庭学習の充実と「学びの自律」に向けた習慣化
- 「学びの土台」となる基礎学力の定着と組織的な支援

2 こころとからだを育てる『共生』

「自分」を認め、「なかま」を大切に、共に歩む子

- 相手を意識し尊重することからはじめる「聴き合う」なかまづくり
- 「自分たちで創る・決める」「自分らしさを認め合う」納得感ある学校生活
- 「全校がなかま」スマイル活動や異学年交流の充実

3 夢と志を育てる『広がる』

本物に触れ、多様な学びの中で「自分」の世界を広げる子

- 子どもを中心に据えた相互コミュニケーション力の向上
- 地域文化の継承と地域とともに歩む活動の充実
- 小規模アシスト事業（他校交流）による「多様な学び」の広がり
- 行事や活動の中での「ゴールの姿」を共有し、非認知能力を育成



中学校区で
育成・評価・承認



中部中学校区学びの一体化



4 全ての子どもの力を伸ばす学校『チーム中央』

みんなが安心・安全、一人ひとりに「居場所」のある学校

- 「チーム中央」による迅速な情報共有と、毎日の打ち合わせを大切にする組織力の向上
- 特別支援教育の視点を活かした、一人ひとりの特性に応じた支援の充実
- 客観的なデータの活用と、専門機関・外部との緊密な連携
- 危機管理意識の共有と、実効性ある「緊急時対応訓練」等の実施

5 学校教育力の向上『つながる』

みんなが地域と共に育ち、教職員が「働きがい」を実感できる学校

- 「四日市版コミュニティ・スクール」への積極的な参画と地域協働
- 校務のスリム化（会議の精選や ICT 活用、終礼の実施）を進め、「質の高い時間」を確保
- 「タイムリーな情報発信」による、開かれた学校と保護者・地域と信頼の構築